

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立長寿医療研究センター運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	国立病院課		課長：古川夏樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-1 政策医療を向上・均てん化させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立長寿医療研究センターが行う業務(加齢に伴って生ずる心身の変化及びそれに起因する疾患であって高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾患に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	3,459	3,613	3,852	3,477	3,571
		補正予算			-109		
		繰越し等					
	計	3,459	3,613	3,743	3,477	3,571	
	執行額	3,459	3,613	3,743			
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国立長寿医療研究センターが行う業務に関する独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価(全14項目)		成果実績	-	A=9 B=5	S=3 A=11	S=3 A=11
		達成度		S:計画を大幅に上回っている。 A:計画を上回っている。 B:計画に概ね合致している。 C:計画を下回っている。 D:計画を下回っており、大幅な改善が必要			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	英文論文数 ※活動実績は、歴年による集計		活動実績 (当初見込み)	本	87	113	94
				(	-	)	-
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	事業費等	3,477	3,571	臨床研究推進事業に係る経費の増			
	計	3,477	3,571				

事業所管部局による点検

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行っていることから、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	NCの運営費の一部に文部科学省の事業と類似するバイオバンク事業があるが、文部科学省の事業との役割分担を明確にするため、平成25年度から生体試料の収集対象疾患、対象者等を限定(※)することにした。 ※約190疾患の全受診患者の血液・細胞組織等→手術を要する約96疾患の重症患者の細胞組織(一部血液)	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
	0240	オーダーメイド医療の実現プログラム		文部科学省研究振興局研究新興戦略官付
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。			
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	独立行政法人国立長寿医療研究センター運営費については、センターが行う業務にかかる経費の一部に充てるためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	—			

備考

平成24年度予算執行調査(事業名:独立行政法人国立高度専門医療研究センターが実施するバイオバンク整備事業)

○調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 生体試料の収集対象疾患が限定されておらず、収集目標数も設定されていない中で、6NCが各々生体試料の収集を行っている。
2. 保管生体試料の各NCのデータベース化、NC間のネットワークシステムの標準化は構築途上であり、患者同意が得られた生体試料の外部への提供体制の整備は進んでいない状況。
3. 患者を対象として類似の施策である、文科省のバイオバンクジャパンとの役割分担を明確にし、生体試料の収集対象疾患や、収集対象者を限定するなど、重複を排除することにより、経費の圧縮を図るべき。
4. 費用対効果を勘案し、NCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費については、既存システムの転用、セキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発に係る経費の圧縮を図るべき。

○反映の内容等

1. 生体試料の収集対象疾患、対象者等を限定(※)することにより、収集・蓄積及び解析に係る人件費等の削減を図った。  
※約190疾患の全患者の血液・細胞組織等→手術を要する約96疾患の重症患者の細胞組織(一部血液)
2. NCのデータベース化、ネットワークシステム構築経費について、既存のシステムの転用及びセキュリティを確保したインターネット回線の活用により、開発費等の削減を図った。

行政刷新会議ワーキンググループ「新仕分け」(平成24年)

レビューシートの事業番号(761) 事業名(国立高度専門医療研究センターにおける事業(橋渡し研究の推進、バイオバンクの整備))

○評価結果

「国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業」

既存の運営費交付金の中で対応できるよう事業内容を抜本的に見直す。

「個別化医療推進のための患者ゲノムコホート研究推進事業」

事業の推進にあたっては、重複を排除し、役割を明確化した上で、既存の運営費交付金の中で対応するよう、抜本的に見直す。

○とりまとめコメント

国立高度専門医療研究センターにおける橋渡し研究等推進事業については、「抜本的見直し」を結論とする。見直しにあたっては、既存の運営費交付金の中で対応できるよう検討、とさせていただきます。評価者からは、「具体的かつ戦略的なビジョンやロードマップが見えない」、また、「結局、何のために43億円が必要なのか、何の成果があるのか、何を指すのか、はっきりとした説明がなかった。」との意見があった。

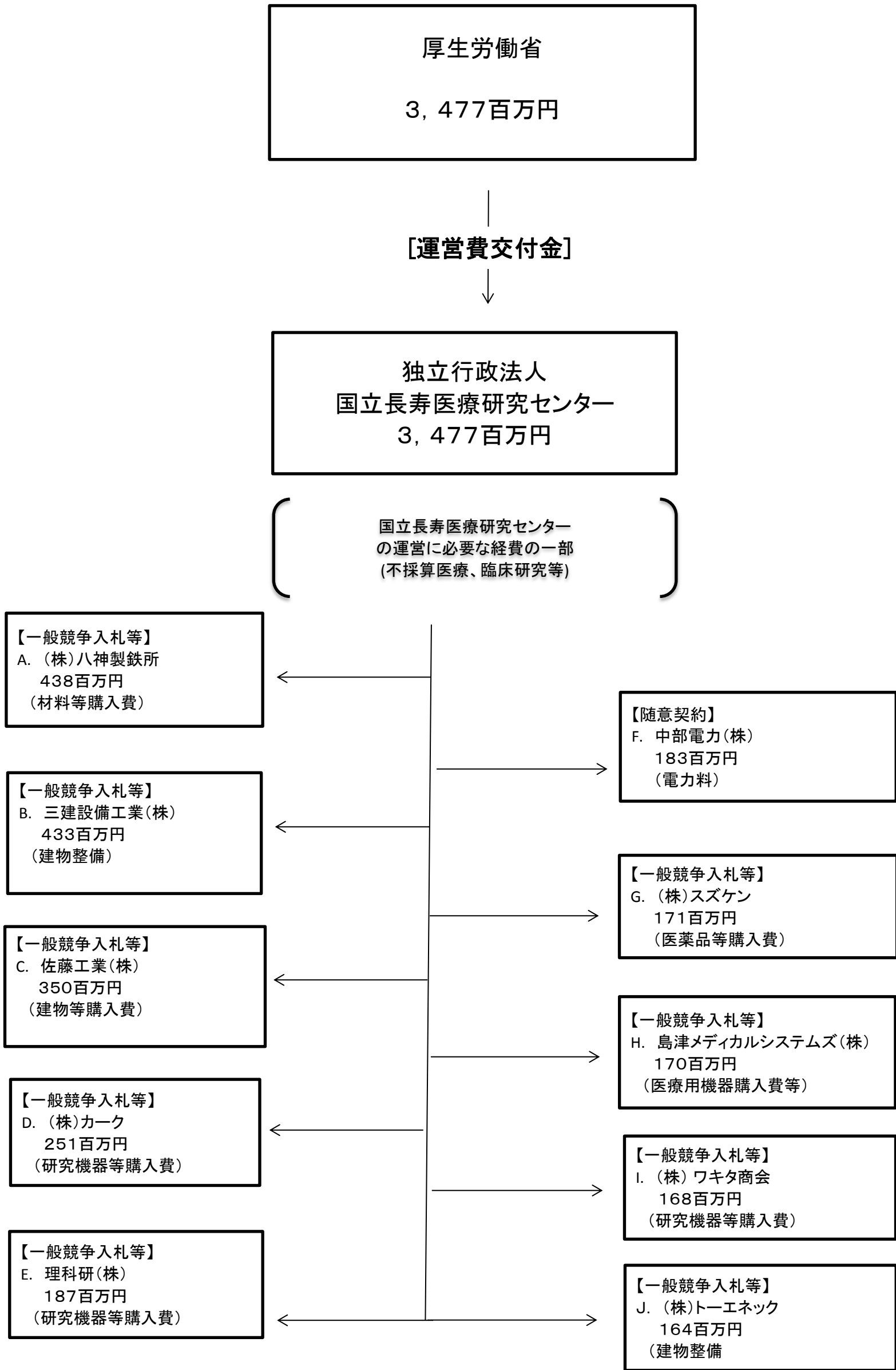
個別化医療推進のための患者ゲノムコホート研究推進事業については、「抜本的見直し」を結論とする。事業の推進にあたっては、重複を排除し、役割を明確化した上で、既存の運営費交付金の中で対応いただく。評価者からは、「NCBN(6NCバイオバンク)とBBJ(バイオバンクジャパン)は、最低限のデータについて共通の情報プラットフォームを作るべきではないか、その上で管理可能なよう統合を目指すべき」、「創薬につなげるロードマップ、中期・長期計画を明らかにするべき」、「限られた財源・資源を有効に活用するため、その推進に向けては各省及び各研究機関の間での重複を排除すべき」との意見があった。

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	—	平成23年	883	平成24年	765
--	-------	---	-------	-----	-------	-----

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)八神製作所			F.中部電力(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
材料費	研究・医療に関する材料費として	202	電力料	研究所等への電気の使用料として	183
器機購入	研究・医療機器等の購入費用として	126			
消耗器具備品費	研究・医療に係る消耗器具備品費の購入費用として	50			
委託費	研究・医療に係る委託費用として	27			
医薬品費	研究・医療に関する医薬品の購入費用として	13			
修繕費	研究器機等の修繕費として	9			
消耗品費	研究・医療に係る消耗品の購入費用として	8			
賃貸借	研究・医療に係る器機の賃貸借費用として	3			
計		438	計		183
B.三建設備工業(株)			G.(株)スズケン		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建物取得	バイオバンク棟・新動物実験棟の建築に係る費用として	420	医薬品費	医療・研究に関する医薬品の購入費用として	151
修繕費	研究所等の建物修繕に係る費用として	13	材料費	医療・研究に関する材料の購入費用として	18
			健康診断費	職員の健康診断に関する試薬等の購入費用として	1
			消耗品費	医療・研究に関する消耗品の購入費用として	1
計		433	計		171
C.佐藤工業(株)			H.島津メディカルシステムズ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建物取得	バイオバンク棟・新動物実験棟の建築に係る費用として	306	器機購入	医療用器機の購入費用として	161
修繕費	研究所等の建物修繕に係る費用として	42	委託費	医療用器機の保守費用として	9
消耗器具備品費	設備等に係る消耗器具備品費の購入費用として	1			
器機購入	設備機器の設置費用として	1			
計		350	計		170
D.(株)カーク			I.(株)ワキタ商会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
器機購入	研究器機等の購入費用として	122	器機購入	研究器機等の購入費用として	155
材料費	研究に係る材料の購入費用として	49	委託費	研究器機等の保守委託費として	12
消耗器具備品費	研究に係る消耗器具備品費の購入費用として	36	消耗器具備品費	研究に係る消耗器具備品費の購入費用として	1
委託費	研究に係る委託費用として	21			
医薬品費	研究に係る医薬品の購入費用として	13			
修繕費	研究器機の修繕費として	7			
消耗品費	研究に係る消耗品の購入費用として	3			
計		251	計		168

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金額 が支出されている者 について記載する。 費目と用途の双方で 実情が分かるように 記載）	E.理科研(株)			J.(株)トーエネック		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	器機購入	研究器機の購入費用として	76	建物取得	新実験動物棟、バイオバンク等の建築に係る費用として	80
	材料費	研究に係る材料の購入費用として	70	委託費	研究所棟等のメンテナンス等に係る費用	54
	委託費	研究に係る委託費用として	14	修繕費	研究所棟等の建物修繕等にかかる費用として	30
	医薬品費	研究に係る医薬品の購入費用として	11			
	消耗器具備品費	研究に係る消耗器具備品費の購入費用として	8			
	消耗品費	研究に係る消耗品の購入費用として	2			
	修繕費	研究器機等の修繕費として	6			
計		187	計		164	

支出先上位10者リスト  
国立長寿医療研究センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)八神製作所	研究所棟等の器機の購入等に係る経費	438		
2	三建設備工業(株)	新実験動物棟、バイオバンク棟の建築設備及び既存建物の修繕に係る経費	433		
3	佐藤工業(株)	新実験動物棟、バイオバンク棟の建築及び既存建物の修繕に係る経費	350		
4	(株)カーク	研究所棟等の器機の購入等に係る経費	251		
5	理科研(株)	研究所棟等の器機の購入等に係る経費	187		
6	中部電力(株)	研究所棟等の電力購入に係る経費	183	随意契約	
7	(株)スズケン	医薬品費等の購入に係る経費	171		
8	島津メディカルシステムズ(株)	医療機器等の購入と既存器機の保守等に係る経費	170		
9	(株)ワキタ商会	研究所棟等の器機の購入、既存器機の保守に係る経費	168		
10	(株)トーエネック	新実験動物棟、バイオバンク棟の電気設備及び既存建物の修繕に係る経費	164		

\* 自己財源を含む支出額である。(当該予算事業の遂行・支出にあたり交付金以外の財源が補填され、一体的に支出を行っているため。)  
\* 「入札者数」及び「落札率」については、入札案件(契約案件)が複数含まれている。